

『平成24年度ふれあい事業

モリモリ遊ぼう！学ぼう！食べよう！げんき森森体験教室』

実施日時：平成24年8月5日（日） 10：00～15：00

場 所：大山隠岐国立公園 鏡ヶ成集団施設地区 （鳥取県日野郡江府町御机）

参加者：9名（募集定員30名）

天 候：晴れ

内 容：平成25年の全国植樹祭の植樹会場となる鏡ヶ成において、地元での気運の高まりを目的とした、森の役割や森の恵み、生物多様性についての学習イベントを企画するもので、鏡ヶ成に関する行政機関の連携と役割分担により今回の企画実施に至りました。鏡ヶ成野営場の学習の森では、森の果たす役割について学び、ブナやミズナラの木を観察しました。お昼ご飯は、薪を使ったアウトドア料理を行い、火起こしからの料理作りを体験して頂きました。木工工作では、間伐した枝や木の実を使ってさまざまな動物を作成しました。

実施風景



<森の役割を学ぶ>

開会式の後、早速、鏡ヶ成野営場内の学習の森へ散策に出かけました。途中、森の果たしてくれる大きな役割である水源かん養機能や二酸化炭素の固定化について学びました。



<花炭実験の様子>

森や植物は二酸化炭素を吸収していることから、それらを使った花炭実験を行いました。花炭とは、木の実や葉などを火に掛けて炭化させて作る炭のことです。金属の箱に穴の開いたふたをして火に掛けました。



<学習の森散策の様子>

学習の森を歩きながら、鏡ヶ成の森について解説を聞きました。ブナやミズナラの葉の特徴を学び、昨年の種から芽を出した幼樹を探すなどして楽しく観察会を行いました。



<アウトドア料理 火起こし①>

昼食作りは参加者の皆さんと火起こしをするところから始めました。初めて火起こし体験をする参加者の方もレクチャーを受けてチャレンジしました。



<アウトドア料理 火起こし②>

薪を使った火起こしを通して、木材の利用について体感し学びました。自分で起こした火を使ってお昼ご飯を作りました。



<木工工作の様子①>

午後からは、木工工作を実施しました。自然の素材である小枝や木の実を使って、大山に棲む動物を作製しました。中には、自然保護官の指導を受けながら、ノコギリを使って工作を行う参加者もいました。



<木工工作の様子②>

木の実や枝を思い思いに組み合わせ、さまざまな動物を作製しました。材料とした木の枝や木の実にも種類や個性がたくさんあること、さまざまな動物を作製し、大山の豊かさを体感して頂けました。



<紙芝居の様子>

最後に、当日一日のまとめとして、ドングリの一生を追った紙芝居を参加者の皆さんで鑑賞しました。お話を聞きながら、森の貴重さを感じて頂けました。



<記念撮影>

作製した動物たちと一緒に記念撮影を行いました。個性あふれる作品が並び、たくさんの動物の棲む豊かな森が完成しました。